

《第57号》 *** ラーニングコモンズについて ***

2015年1月5日、矢巾キャンパスに『ラーニングコモンズ』がオープンしたことをご存知でしょうか？ 今回はラーニングコモンズについてご紹介します。

★ラーニングコモンズとは

① どんなところ？

学生の自主的な学修(アクティブラーニング)を支援するための場です。

可動式の机や椅子、ホワイトボード、電子黒板などの学修に必要な機器・設備を備え、自由度の高い学修が可能です。静かに学修をする図書館などの空間とは違い、複数人でのグループワーク・ディスカッションなどを行うことができます。

※コモンズ(Commons)とは、“共有の場”、“共有空間”を意味する言葉です。

② 誕生の背景は？

米国の大学図書館では、1980年代半ばにインフォメーションコモンズが計画されたのが始まりで、自主的学修目的が移行したことでラーニングコモンズへ転換しました。

日本では、2000年に国際基督教大学の図書館がスタディ・エリアを設置したのが始まりで、2007年にお茶の水女子大学の図書館がラーニングコモンズを設置しました。その後、名称は様々ですが大学図書館内にラーニングコモンズを設置する大学が急増しています。

★本学のラーニングコモンズ [各エリアの特色]

① コラボレーションエリア(食堂棟1階 食堂奥)

カウンター席・ファミレス席などを設け、人数に応じた多様な学修が可能なエリア。

壁面大型ホワイトボードや電子黒板などもあるので、ゼミや講義などに利用していただくことも可能です。1人席も確保していますので、リラックスしたい時、気分転換したい時にご活用ください。

② プレゼンテーションエリア(モール棟1階 丸善売店横)

オープンスペースでのプレゼンの練習や発表・グループワークが可能なエリア。

プレゼン時に使用できる大型ディスプレイが自由にご利用いただけます。可動式の机・椅子、ホワイトボードを設置しているのでグループワークもOK。

どちらのエリアも飲食・会話可能な上に、無線LANも完備しています。学生だけでなく教職員の方の利用も大歓迎です。また、図書館での予約が必要になりますが、各エリアを専有して授業やゼミで使用することも可能です。今後はより多くの情報資源の提供や教員・図書館職員によるサービスの拡充を目指し、さらに使いやすいラーニングコモンズにしていきたいと考えていますので、設置して欲しいものやレイアウトなどご意見をお待ちしています。まだ訪れたことのない方はぜひ一度足を運んでみてください。

図書館トリビア

本学のラーニングコモンズで一番人気の場所は、コラボレーションエリアにあるファミレス席です。席にはホワイトボードが備え付けられており、学生がペンを片手にグループワークをする姿が多く見受けられます。実は、ファミレス席のテーブルもホワイトボードの素材でできていて書き込みが出来るようになっています。テーブルに書くという自由な発想によって生まれるアイデアがあるかも…という期待をこめて置いています。

メールマガジンに関するご意見・ご質問は、図書館 tosho@j.iwate-med.ac.jp まで。

〈編集・発行〉 岩手医科大学附属図書館